

第6期はこでみペアレントトレーニング③

今回は、21名の保護者と支援者の方々にご参加頂きました。

第3回目は、「ほめるポイント」をテーマに講義とグループワークを行いました。
「ほめる」という関わりは、実は簡単ではありません。もちろん子どもに対して「ほめる」対応が効果的なことは誰もが百も承知です。しかし、実際やってみるとこれが難しい！



ご参加の皆さん全員が我が子のために「ほめ上手」になりたい気持ちでいっぱいです。しかし、「ほめ上手」になる前にいくつかの壁が立ちはだかります。

その壁というのは、

- ② 子どもがほめるに値する行動をしない。
- ② ほめたくてもイライラさせる行動ばかりするので、そちらの方ばかりに注目してしまう。
- ② 実際にほめても効果を感じられないので、継続できない。
- ② 何をいつどうほめて良いか分からない。
- ② 保護者自身の心身の余裕が全くない。

などです。

もうお気づきですね。そうです。「ほめ上手」になれないのは子どものせいではなく、大人側にあるのです！

そこで、今回のペアレントトレーニングでは、「ほめ上手」になるためのポイントを具体的にお伝えし、我が子に効果的な「ほめ方」と保護者が無理なく継続できる自分に合った「ほめ方」を一緒に見つけていきました！



参加者の感想

- 「子どもへの関わり方に反省する点がたくさんありました。」
- 「前回の振り返りができて良かったです！」
- 「我が子の出来ている事にたくさん気づけました！」
- 「子どもの苦手な面はどんどん手伝ってあげようと思います！」
- 「本音を聞いてもらえると心からスッキリします！」
- 「ほめるポイントがとても勉強になりました！」
- 「ここに参加することで冷静さを取り戻せます。」
- 「子どもをほめるタイミングがたくさんある事に気づきました！」
- 「我が子が喜ぶほめ方を意識した事がなかったです。」